

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 104-0055
住 所 東京都中央区豊海町4-5 豊海振興ビル6階
氏 名 株式会社マルハニチロ物流
代表取締役社長 小門 賢一
(代理人) 関東支社 支社長 荻野 新
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルハニチロ物流		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島86		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	主として冷凍貨物品の保管を行っている。		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,400 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2023 年度 ～ 2025 年度 (報告年度 2023 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 https://www.logi.maruha-nichiro.co.jp/upload/news/13320001635e93cf84f026d.pdf

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第 1、2、4 号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2022 年度)	第 1 年度 (2023 年度)	第 2 年度 (年度)	第 3 年度 (年度)	目 標 排 出 量
排 出 量 (t -CO2)	(実) 4,180 (調) 4,171	(実) 4,434 (調) 3,784	(実) (調)	(実) (調)	(実) 4,153 (調) 4,038
削 減 率		(実) -6.1 % (調) 9.3 %	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) 0.6 % (調) 3.2 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量					原単位等の単位
	基準年度 (2022 年度)	第 1 年度 (2023 年度)	第 2 年度 (年度)	第 3 年度 (年度)	目標とした値
排出量原単位 等 の 値					
活動量の値					-
排出量原単位 等 の 削 減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第 1 年度	川崎 3 センターにて倉庫内への暖気流入対策等を行ったが、2023 年 11 月に当社は保管温度基準を定め F1 級庫においては基準温度である -21℃を上回らない温度設定と致しました。その結果、第一年度の排出量削減率は(実)で 6.1%増、(調)で 9.3%減となる。第一年度は目標数値を達成することができなかったが引き続き排出量削減を実施していきたい。
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

・ 全国設備担当者会議を年 3 回実施し、省エネに関する意見交換を行った。 ・ 全国各地域にて毎月施設担当者会議を実施して、電力量の実態調査と省エネに関する活動の報告を行った。 ・ 事務所にクールビズ・ウォームビズを実施して空調機の節電に励んだ。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	①接車バス外気侵入対策による節電 ・トラックバスと車両の接車部分の密着度を維持し外気侵入を防ぐ。 ・劣化したバースパッドの交換をする。 ・有圧扇の設置により外気を外に逃がし空調機器の運転時間削減をする。 ・オーバースライダーの機能維持管理をする。 ②冷蔵倉庫の電動防熱扉の整備維持管理をする。 ③引き続き照明設備のLED化を進める。 ④事務所空調機の更新により省エネを図る ⑤事務所空調機設定温度の表示、冷凍機温度スケジュールの管理強化 温度表示、スイッチオンオフの確認シールの貼付・表示により節電意識を高める。 冷凍機の温度スケジュールを確認強化することにより冷凍機運転の高効率化を図る。
第1年度	①接車バス外気侵入対策による節電 川崎第一にて接車バスのバースパッドを交換した。(NO.1、NO.2、NO.7) 2023年5月 川崎第一にて1階荷捌室の空調洗浄を実施した。2023年6月、11月 川崎第一にてオーバースライダー機能維持管理を実施した。2023年12月 川崎第一にて4階荷捌き空調設備を更新した。2023年12月 川崎第二にて1階～5階荷捌き室空調洗浄を実施した。2023年5月 川崎第二にてオーバースライダー点検整備を実施した。2023年6月、11月 川崎第三にてオーバースライダー機能維持管理を実施した。(A棟18台／C棟19台) 2023年6月 川崎第三にて接車バースパッド交換。(A棟3バス分／C棟3バス) 2023年7月 ②冷蔵倉庫の電動防熱扉の整備をする。 川崎第一にて電動防熱扉点検整備を実施した。(59箇所) 2023年8月 川崎第二にて電動防熱扉点検整備を実施した。(各階) 2023年7月、2024年1月 川崎第三にて電動防熱扉点検整備を実施した。(A棟9か所、C棟2か所) 2023年7月 ③蛍光灯照明のLED化 川崎第一にて倉庫棟階段室LED導入工事を実施した。(1階～5階) 2023年7月 川崎第二にて事務棟及び機械室LED照明を導入した。 ④事務所空調機の更新により省エネを図る。 川崎第一にてA棟1階事務所換気設備(ロスナイ)を更新した。2023年6月 ⑤事務所空調機設定温度の表示、冷凍機温度スケジュールの管理強化 川崎第二にて事務棟エアコン洗浄を実施した。2024年3月 川崎第三にて事務所空調設備室内機の分解整備、洗浄を実施した。(6台分) 2023年6月
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	各年の発電効率を評価して保守管理を検討
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	年間：7500Kw程度 導入場所：川崎第三物流センター	2013年度
太陽光発電	2024年度以降に川崎第一物流センターにて軽量の太陽光パネル設置予定(屋上防水施工後に計画)	2024年度
	発電電力量2018年度 7,382 kwh/年	
	発電電力量2019年度 6,969 kwh/年	
	発電電力量2020年度 6,950 kwh/年	
	発電電力量2021年度 7,253 kwh/年	
	発電電力量2022年度 6,689 kwh/年	
	発電電力量2023年度 7,135 kwh/年	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	グリーン経営の推進及び新規認証取得 環境問題への取り組みの一環として、省エネ設備の導入や廃棄物の適正管理、環境教育を実施、エコマーク製品の優先購入をする。 未取得センターの認証取得を目指す。
第1年度	* 川崎第一、川崎第二を含む6センターが更新審査を受け更新された。 新規認証取得は無し。 * 廃棄物の適正管理を行うべく社内教育を行い管理体制に力を入れている。 川崎3センターにて環境配慮製品にあたる「GPN」、「エコマーク」、「グリーン購入法」に該当する製品購入を推進しています。
第2年度	
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	4,180 t-CO ₂	4,434 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,259 KL	2,400 KL	KL	KL
事業所の数	3	3		

（2）事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
川崎第二物流センター	川崎区東扇島17-7	1,850	1,953		
川崎第一物流センター	川崎区東扇島25-2	1,514	1,623		